

伊藤病院だより
AUTUMN

Voice

2014年9月1日発行 第47号 東京都渋谷区神宮前4-3-6 伊藤病院広報誌委員会



表参道の上空を飛ぶ
ブルーインパルス

◆中国天津腫瘍病院からの見学

伊藤病院 広報室 ティ

去る7月7日から11日にかけて、天津腫瘍病院甲状腺外科王旭東部長と于洋医師が見学を訪れました。天津腫瘍病院は150年余りの悠久な歴史と2500床ものベッドを持つ、中国国内でも腫瘍病院として名を誇る三級病院です。

昨今、中国でも甲状腺疾患を病む患者が増加しており、発病率や手術まで至る治療患者も後を絶たないということです。初日、院内を見学後二人の医師は主に当院のエコー下穿刺吸引細胞診と手術にとりわけ関心を示しており、手術を終えた当院の医師らと時間を設け疑問点や手法などについて細かく問を投げかけ、相互の精髓について意見を交わしました。術式に関してはさほど差がないと示したものの、患者様への手術前外来や手術後リスクの説明、そして物事に対して日本人ならではの細かさや、気配りなどは大いに学ぶべきだと表されました。

わずかな期間の見学でありましたが、両医師とも当院で習得したものを活かし、今後中国の更なる甲状腺疾患領域の発展に一助となるために奮闘して行きたいという志を立てて帰国の途に就かれました。



左から2番目：于洋医師 4番目：王旭東外科部長

◆「医療・介護の安全保障を推進する民間会議」設立記念 「国際交流、友好をめざす集い」

伊藤病院 臨床検査室室長 宮崎直子

5月10日に東京医科歯科大学「鈴木章夫記念講堂」において「医療・介護の安全保障を推進する民間会議」の設立を記念し、「国際交流、友好をめざす集い」が開催され、特別講演で伊藤公一院長が講演しました。

「医療・介護の安全保障を推進する民間会議」とは、医療・介護保険制度の研究者や病院・介護施設関係者で構成されており、国際交流(友好)を深め医療・介護を通じてアジア各国民との友好の輪を広げて安全保障を構築していこうという民間会議です。

この会議には約120名が参加し、日本慢性期医療協会 武久洋三会長、聖路加国際病院 福井次矢院長とともに、伊藤公一院長が「甲状腺疾患専門病院における外国人診療の取り組み」をテーマに講演しました。



◆当院が発行した医療ビザでの受診

伊藤病院 広報室 ティ

2010年1月より、日本の新成長戦略として、検診・治療などを目的とした「医療滞在ビザ」を創設することが閣議決定されました。この取組を背景に多くの医療機関には医療ビザを用いて訪日する患者が増加しています。

今年7月、当院にも身元保証機関を介し、当院が発行した医療ビザで患者様が受診されました。更に今回の医療ビザの発行を機に、8月はロシアから、12月は中国から患者様が来院する予定です。

当院は、今まで在日外国人患者様にも同じ医療を提供すべく、無料通訳などを通して利便性を向上して参りました。更に、数年に渡って観光庁の先頭に立ちメディカルツーリズムに取り組んで参りましたので、今回の成果はささやかながら誇りでもございます。

今後、海外から受診にくる患者様が増えてくると思いますが、職員一丸となり甲状腺専門病院として努めていく所存でございます。

院内改修工事のご報告

今年5月より、待合フロアの拡充、トイレの増設、診察室の集中など、アメニティ向上ならびに診療機能強化のため、改修工事を行ってまいりましたが、8月末におおよその工事が終了しました。

この度の工事による変更箇所について、ご案内いたします。

・検査21（採血室）

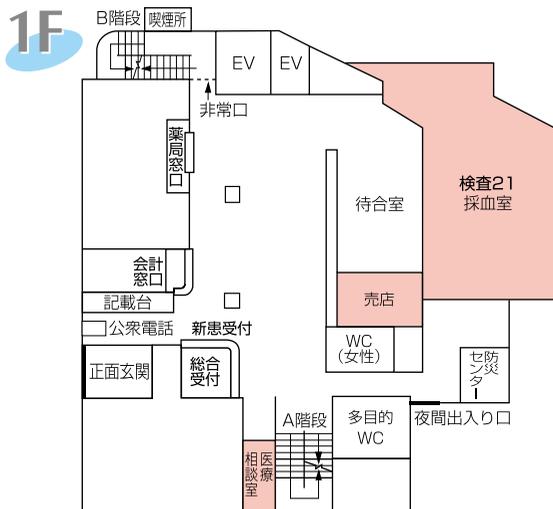
検査21（採血室）を1Fに移動し、受付後そのまま採血をお受け出来るようにしました。

・診察室

1F・2F・B1Fに分かれていた診察室を2Fに集約しました。これに伴い、細胞診・ペイトは診察室10、心エコーは診察室11での実施となります。

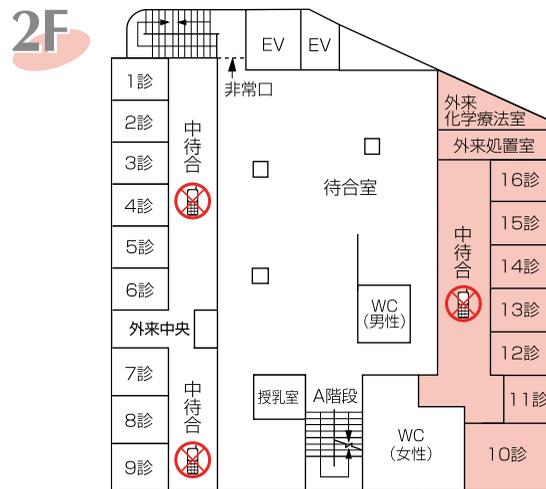
改修工事後変更のご案内（赤字は変更点）

2F	女性用トイレ、男性用トイレ
1F	女性用トイレ、男女兼用・多目的トイレ
B1F	女性用トイレ、男性用トイレ



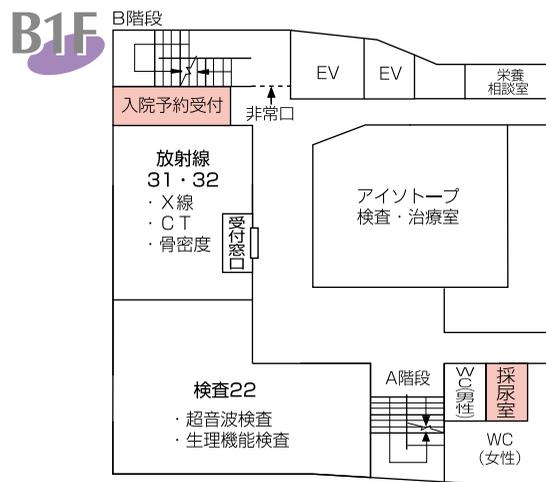
採血室	検査21
尿検査受付	
医療相談室	
売店(1F内での場所移動)	

薬局
精算機・会計
総合受付



診察室1～16	診察室10
細胞診・ペイト	診察室11
心エコー	
外来化学療法室	
外来処置室	

外来中央
授乳室



入院予約受付	
採尿室	
X線・CT	放射線31
骨密度検査	

超音波検査	検査22
心電図	
呼吸機能	
アイトープ(R1)	放射線32

学会活動

超音波検査は、機器の改良や新しい技術の開発により、めざましく進歩しており、多くの診療領域で用いられています。今回は甲状腺疾患における超音波を利用した検査について、多数の発表を行いました。

日本超音波医学会 第87回学術集会(横浜・5/9～11)では、國井医師が「伊藤病院における小児甲状腺検査の結果」「甲状腺結節におけるカラードブラ所見の施設内データ変動」の2つの特別講演と、「3Dパワードブラを用いた甲状腺濾胞腫瘍の評価」を発表。臨床検査技師である佐々木、天野技師もそれぞれ「甲状腺原発の粘表皮癌の1例」「微小乳頭癌の超音波画像の検討」の発表を行いました。

また、國井医師は、第3回 日本甲状腺Intervention研究会(横浜・5/10)においても、教育講演「伊藤病院におけるPEI治療」を講演しました。当院ではペイト治療を1997年から実施しておりますが、どのような病状に効果があるか等ご紹介しました。

第55回 日本臨床細胞学会総会(横浜・6/6～7)では、渡辺臨床検査技師が「多量の硝子様間質を伴う乳頭癌の1例」、藤澤臨床検査技師が「当院細胞診の甲状腺ベセスダシステムによる再評価—甲状腺癌取り扱い規約との比較検討—」を発表しました。

鈴木章史医師は、第19回 日本緩和医療学会学術大会(神戸・6/19～21)において、「甲状腺専門病院での緩和ケアの取り組み」を発表しました。甲状腺がんのほとんどは非常にたちがいのですが、中には緩和ケアが必要となる方もいらっしゃいます。当院での緩和ケアの取り組みについて、発表しました。

北川診療技術部部长は、第32回 日本乳腺甲状腺超音波医学会学術集会(横浜・5/10～11)において、特別講演「甲状腺細胞診の現状と今後の課題—伊藤病院における手技と工夫、診断成績—」を講演しました。エコー下穿刺吸引細胞診は超音波検査と並び腫瘍の良性・悪性を診断するために重要な検査です。当院での細胞診検査の診断率を向上させる取り組みについてご紹介しました。

伊藤公一院長は、大阪内分泌フォーラム(大阪・5/15)において特別講演を行いました。

大阪市立大学の先生方による糖尿病や骨粗鬆症、下垂体性無月経等について講演があり、続いて伊藤公一院長が「本院における甲状腺疾患専門診療の実際 ～バセドウ病、橋本病、甲状腺乳

頭癌を中心に～」をテーマに講演しました。会場には、内分泌診療をされている先生方が多数お集まりになり、活発な質疑も行われました。

宇留野医師は、第20回 日本家族性腫瘍学会学術集会(福島・6/13～14)において、「多発性内分泌腫瘍症1型関連の副甲状腺機能亢進症に対する手術成績」を発表しました。

吉村内科部長は、第32回 内分泌代謝学サマーセミナー(山梨・7/10～12)において、特別講演「妊娠と甲状腺」を講演しました。



内分泌・甲状腺外科専門医でもある大阪市立大学大学院医学研究科腫瘍外科学准教授 小野田尚佳先生(左)と伊藤公一院長

講演活動

伊藤公一院長はARTナースアカデミー2014(東京・5/25)において、『ARTの女性に多い疾患「甲状腺疾患」』を講演しました。前号Voiceでもご紹介しましたが、妊娠・胎児と甲状腺は深い関係があります。

ART(生殖補助医療)に関わる看護師の皆様にも、甲状腺ホルモンの働きや甲状腺疾患についてご説明しました。

杉野副院長は平塚市医師会外科部会学術講演会(神奈川・6/14)において、「甲状腺疾患についての最新知見」をテーマに講演しました。お集まりになった地域医療に取り組む先生方に、診断から治療方法の選択について、当院での臨床研究結果をお示ししながら、ご紹介しました。

吉原医師は第4回 内科疾患と妊娠フォーラム(東京・6/7)で講演しました。

「初診でバセドウ病の若い女性が受診したら？」をテーマに、妊娠可能年齢層の女性に多く発症するバセドウ病の診断方法や妊娠・出産との関係をご紹介しました。

野中薬剤室室長が神奈川県女性薬剤師会研修会(横浜・7/27)において「甲状腺疾患の服薬指導」をテーマに講演しました。甲状腺疾患の治療で処方する薬剤についての比較や説明のほか、患者様に定期的な通院としっかりお薬を服用していただくことが重要であることをご説明しました。

学会活動

ピックアップ 日本内分泌外科学会総会

5月22・23日に名古屋市で、第26回 日本内分泌外科学会総会が開催されました。

この学術集会は甲状腺だけでなく、乳がんや副腎、膵臓など、内分泌疾患の外科治療に携わる医師が集まり、重要な情報発信・情報交換の場となっております。甲状腺とは別の分野での取り組みや話題を知ることによって、新たなヒントとなることもあり、当院も積極的に参加しています。

今回、当院からは下記の6演題の発表、4つの特別講演を行ったほか、伊藤公一院長、杉野公則副院長が座長を務めました。



伊藤公一院長

杉野公則副院長

長瀬充二	甲状腺に発生する好酸球増多を伴う硬化性粘表皮癌の1例
北川 亘	高周波・超音波コンパインエネルギーデバイスを使用した甲状腺手術の経験
赤石純子	甲状腺低分化癌におけるMIB-1発現
齊藤芙美	甲状腺分化癌脳転移症例の検討
鈴木章史	小児良性甲状腺結節の核は本当に大きいのか？
正木千恵	機能低下に陥った、In situに温存した副甲状腺の機能回復の可能性

特別講演

宇留野隆	甲状腺未分化癌組織を用いた、抗癌剤感受性検査の経験(統報) 家族性甲状腺髄様癌のGenotype, Phenotype別予後、及びDoubling timeとの関係
北川 亘	良性甲状腺疾患に対するエネジーデバイスを用いた手術の現状と今後の展望—保険収載をめざして—
大桑恵子	当院における無症候性副甲状腺機能亢進症に対する治療成績の検討



長瀬充二外科部長

北川亘診療技術部部长

赤石純子医師

齊藤芙美医師



鈴木章史医師

正木千恵医師

宇留野隆医師

大桑恵子医師

みよの台薬局グループから見学にいらっしました

みよの台薬局グループは医薬品の販売や処方箋調剤だけでなく、訪問服薬指導などの在宅医療にも力を入れられており、地域密着型のかりつけ薬局として地域医療に貢献されています。

この度、新入職員研修の一環として11名の薬剤師が見学にいらっしました。当院の薬剤師より、病院における薬剤師業務の紹介や、甲状腺疾患、甲状腺薬・抗甲状腺薬の特徴、副作用等の留意点についてご説明いたしましたが、多くの質問が寄せられ、積極的に学ぶ姿勢が感じられました。

これから地域の患者様と接していく薬剤師の皆様へ、今回の見学で得られた甲状腺疾患についての知識をぜひ役立てていただきたいと存じます。



伊藤公一院長が筑波大学大学院で講義を行いました

伊藤公一院長は筑波大学大学院の外科学教室非常勤講師を務めており、毎年同大学院で講義を行っております。

今年も5月12日に「甲状腺がんについて」をテーマとして講義を行いました。当院ではカルテを永久保存しておりますので、甲状腺がんの9割以上を占める乳頭がんについて25年間をさかのぼっての研究結果や、一方で数が少ないながらも悪性度の高い低分化癌における国内外での診断基準についての議論をご紹介いたしました。

教室には、医学生だけでなく甲状腺疾患に関わっている医師も参加され、活発な質疑が行われました。また、当日参加出来なかった方のために講義の録画も行われ、Eラーニングとして利用されています。



甲状腺疾患の症状はさまざまで、身体全体に影響が現れます。そのため、当院では幅広い分野の先生方と連携して診療を行っています。

この度、日本甲状腺学会 学術・小児担当理事であり、小児科医として甲状腺疾患を研究している原田医師が、小児の甲状腺疾患についてご説明いたします。(広報誌委員会)

小児の甲状腺疾患について

伊藤病院 非常勤医師 原田正平

私は小児科医ですが、皆さんは小児科医の診る年齢層はどれくらいだと思いますか？

中学生まで？高校生まで？日本小児科学会では、「子どもとは従来のように15歳までの年齢を上限とするのではなく、今後は成人に至るまでの思春期・青年までを想定すべきと考えます。欧米の先進諸国では最近になって思春期という年齢層が10歳前後から21歳までの子どもを意味するようになってきており、小児科医がこれらの年齢層にある思春期の子どもの医療にも関わってきてつあります」と考えています。

小児科医は以前から、「子どもは小さな大人ではない」あるいは「子どもは大人のミニチュアではない」と先輩から教えられてきました。その大きな理由は、子どもはたとえ大人と同じ病名がつけられても、病気をもちながら「成長」していくため、ときに大人と治療方法や治療方針が大きく異なるからです。

甲状腺の病気ではありませんが、肥満症を例にとってみましょう。大人であれば、肥満症の食事療法は「カロリー制限」が第一となります(最近では「糖質制限食」というカロリーを制限しない方法もありますが、話が難しくなるのでここでは触れません)。しかし、成長している子どもでは、多くの場合カロリー制限はせず、その年齢に適切なカロリー摂取を続け、身長が伸びることによって、肥満が解消されるのを待ちます。

では「小児の甲状腺疾患」の場合はどうでしょう。

甲状腺疾患と言っても実は、甲状腺に原因のある場合と、脳内に原因があって、その影響で甲状腺機能に異常がでる場合がありますが、今回は、甲状腺に原因のある原発性甲状腺機能異常症についてお話しします。これらは、先天性と後天性に区分されますが、先天性とは「生まれつき」の病気のことです、だいたい2歳くら

いまでに診断され、「後天性」とは、それ以後に診断されることが多いと考えて下さい。

先天性の原発性甲状腺機能異常症は大部分が、新生児マススクリーニング(先天代謝異常等検査事業)により発見され、永続性先天性甲状腺機能低下症と一過性甲状腺機能異常症に大きく分けられます。新生児マススクリーニングというのは、日本で生まれる全ての赤ちゃんが受ける血液による検査で、先天性甲状腺機能低下症については1979年に始められ、毎年500人くらいの先天性甲状腺機能低下症のお子さんが早期診断、早期治療され、病気がないお子さんと変わらない育ち方をしています。

この先天性甲状腺機能低下症は、以前は日本でも「クレチン症」と呼ばれていましたが、実は、ヨウ素欠乏症による病気が、クレチン症の正しい定義なので、この病名は使われない傾向になっています。日本以外のほとんどの国々は、自然な食物摂取下ではヨウ素欠乏状態にあり、21世紀に入っても世界で約20億人がヨウ素欠乏状態にあるといわれ、ヨウ素添加塩などによる補充が行われています。わが国では昆布などの海藻や魚介類が古来より重要な食物であり、世界でも稀な自然状態でのヨウ素充足地域であるため、ヨウ素欠乏症はほとんどみられません。

後天性甲状腺疾患は、成人に比べてその頻度は低く、例えば小児期発症のバセドウ病は症例全体の5%以下とされています。また成人期の甲状腺機能亢進症に含まれる無痛性甲状腺炎や亜急性甲状腺炎は小児期では稀で、亢進症の大部分はバセドウ病です。

治療としては、抗甲状腺薬の服用がまず選択され、成人で行われる放射性ヨード内用療法は、薬剤の副作用などで抗甲状腺薬が使えない場合など、特別なときに選ばれます。

後天性の甲状腺機能低下症を引き起こす多くは慢性甲状腺炎(橋本病)ですが、大人との一番の違いは、重度の甲状腺機能低下症の場合、成長障害、つまり身長の伸びが悪くなって見つけられることがあることです。小学校に入ってから、男女問わず1年で2~3cm以下しか背が伸びない場合、小児内分泌専門医や甲状腺専門医に相談することが重要です。

原田医師は土曜日の午後に診察を行っています。予約制ではありませんので、診察をご希望の方は、受付後2F外来中央窓口もしくは1F総合受付にお申し出ください。



オリンピックの開催が決まると、その開催地では競技会場の建設はもちろんのこと、交通機関や道路等、周辺地域まで開発がすすみます。

今回は、1964年の東京オリンピックの開発で大きく姿を変えた青山通りと、開催年に開業したホテルニューオータニについてご紹介いたします。

青山通りの開発

江戸時代、青山通りは丹沢の大山にある阿夫利神社へ通じることから大山街道と呼ばれていました。大山詣での為に歩く旅人や、江戸方面と、駿河・甲斐・相模などからの物資を運搬する交通路として利用されていました。五街道の一つであった東海道は大名や武士などが多く利用していたため、商人は東海道を避け、大山街道を利用していました。このことから、大山街道は庶民の文化、経済を支える街道であったことがうかがえます。

明治時代になると、現在の神宮外苑あたりに青山練兵場ができ、その他にも陸軍大学校や青山師範学校、女子学習院といった、軍や学校などの公共施設が多く建設されました。それに伴い明治後期から、華族や高級官吏などが多く住むようになりますが、通りを外れるとまだ、畑や野原が残っていました。

そんな青山通りも、明治政府によって大規模な改修計画が立てられます。明治37年には三宅坂から現在の外苑前あたりまで路面電車が開通し、商店が立ち並び、次第ににぎやかな通りになっていきます。昭和13年には地下鉄銀座線も開通しました。

しかし昭和20年、東京大空襲でほとんどの建物が焼失してしまいます。戦後、神宮外苑が進駐軍に接収され、米国文化が入ってきました。とはいえ、まだ当時の青山は小さな商店が軒を連ね、路面電車がはしり、静かで落ち着いた住宅街といった雰囲気でした。

復興を目指した青山の大きなターニングポイントとなったのは、昭和39年に開催された東京オリンピックでした。昭和31年、急速に進む自動車時代への対応策として高速道路建設を

含む「首都圏整備法」という道路計画が実施され、昭和39年のオリンピックに向けて大幅な拡張工事がすすめられました。

国立競技場をメイン会場とするために首都高が延長され、羽田空港からオリンピック会場を接続する路線が開通、青山通りも道幅22mから一気に現在の40mに拡張しました。小さな商店が激減し、町の風景は一変しました。コンクリート造りの大型ビルが次々と建てられ、昭和43年には長年親しまれてきた路面電車(青山1丁目～渋谷区間)が姿を消しました。この日から青山通りは自動車が独占し、交通量は年々増加していき、今日の姿になりました。

ちなみに、表参道の交差点にある山陽堂書店も、青山通り拡張のために3分の2が削られ、現在の姿になりました。残った部分の壁には、週刊新潮の表紙を飾っていた谷内六郎氏の赤い風船の絵が描かれていましたが、現在も見られる「傘の穴は一番星」は昭和50年に書き換えられたものです。(Voice38号の表紙を飾りました)



当時の首都高速(赤部分が1964年開通、青部分は既存路線)



東京オリンピックと同年に開業した ホテルニューオータニ

2020年の東京オリンピックに向けて、現在も様々な整備や再開発計画が動き出しています。

日本のホテル業界で「御三家」の一つであり、1964年に開業したホテルニューオータニは、今年でちょうど開業50周年。前回の東京五輪に向けて増加する外国人観光客を見越して建設されました。また、敗戦で荒廃した日本と東京の街がこれだけ復興したことを海外の方にぜひ知っていただくことも目的だったと言われています。120年を超える帝国ホテルより新しく、今年52年目のオークラより弟分の「三男坊」と言われていますが、日本初の超高層建築、東洋一の展望レストランなど、開業当初からトップレベルの設備とサービスを追求されてきました。その軌跡は、2020年の東京五輪に向けても参考となる面が多く、とんかつ専門店や焼き鳥屋などのレストラン街はショッピングモール並みの38店舗あり、これから増える海外からの宿泊客にも喜ばれそうです。

また、敷地内には一面が赤いバラで約2500㎡の広さがあるローズガーデン(一般公開は不定期)や、パワースポットとしても知られている日本庭園の滝などがあり、日本庭園とヨーロッパスタイルの庭園の両方が楽しめます。庭園を眺めながら座ってくつろいでいる方も多く、癒される場所のひとつとなっています。ホテルとしては50年ですが、庭園などそれ以前からの歴史がある土地柄も魅力的です。約400年の歴史があり、木が枯れ化石化した木石(ぼくせき)など、そういうものを発見する喜びもあります。ホテル内はお年寄りにも優しいバリアフリーになっていますので、外国人観光客だけでなく、2020年の東京五輪を契機に家族が集まれる場所としても人気が出そうです。

今後の日本文化として、とりわけ江戸の文化の多くが継承された東京は、オリンピックを契機により多くの人々の関心を集め活気付くような、街づくりが期待されています。



1964年開業時の外観



現在の外観



ローズガーデン

伊藤病院 内科 渡邊奈津子

1. 悪性リンパ腫とは

悪性リンパ腫は、リンパ系の組織から発生する悪性腫瘍(いわゆる“がん”)の一つです。リンパ系組織とは、ヒトの免疫システムを担うもので、リンパ節、胸腺、脾臓、扁桃腺、リンパ管、リンパ液などが含まれます。例えば風邪をひいた際に首のリンパ節が腫れることは時に経験しますが、これはウイルスや細菌に対して私たちの免疫システムが反応した結果です。一方、このリンパ系組織から腫瘍が発生した場合を悪性リンパ腫と呼びます。多くはリンパ節(リンパ球が集まる場所)に発生し、“がん”化したリンパ球が増えるとリンパ節にかたまり(腫瘤)を作ります。

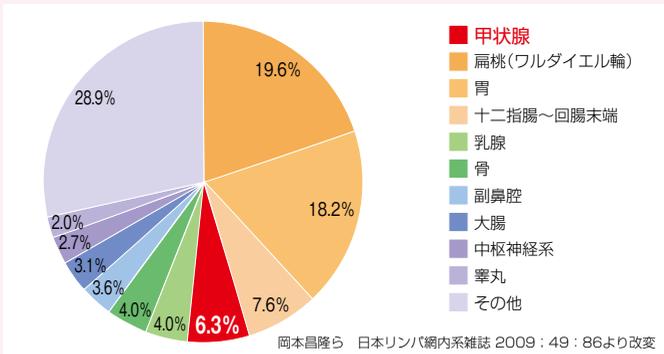
2. どうして甲状腺にリンパ腫ができるのでしょうか？

リンパ組織の代表であるリンパ節に悪性リンパ腫を生じることが納得できますが、甲状腺にリンパ腫ができるのはなぜでしょうか？甲状腺には、元々リンパ系組織は存在しないため、リンパ腫が発生するには甲状腺にリンパ組織がはいりこむ何らかのきっかけが必要です。現在のところ、甲状腺の自己免疫異常である橋本病(慢性甲状腺炎)の存在が背景にあると考えられています。橋本病による自己免疫の異常により、リンパ球が甲状腺の中にはいりこみ、やがて腫瘤を形成すると想定されています。

3. 橋本病との関係

リンパ腫と関係していると言われると、橋本病の方は大変心配されるかもしれませんが、しかし、橋本病の患者様はとて多いのですが、その中でリンパ腫を実際に発症するのは、極々一部です。中高年に降で可能性が高まりますが、年齢・橋本病の存在以外に、様々な要因が重ならなければリンパ腫を発症しないのです。甲状腺の腫大がどんどん悪化するときなどは特に注意して、まず超音波検査などで検査をおこなっていきます。

<節外性リンパ腫の発生部位>リンパ系組織の代表であるリンパ節に生じるリンパ腫は節性リンパ腫と呼ばれます。リンパ節以外の様々な部位にもリンパ腫は発症し節外性悪性リンパ腫と呼ばれます。甲状腺悪性リンパ腫は節外性悪性リンパ腫の一種です。



4. 診断

1) 病気の種類と悪性度を診断する！「病理診断」

リンパ腫にはいろいろな種類がありこれによって悪性度や治療方法が異なるので、しっかり見極めることが重要です。これが病理診断です。悪性度は病気の進行のスピードから「低悪性度」「中悪性度」「高悪性度」に分類されます。甲状腺のリンパ腫では低悪性度のマルトリリンパ腫、中悪性度のびまん性大細胞型B細胞性リンパ腫が殆どを占め、それぞれに応じた治療法があります。

悪性度による分類

悪性度	進行のはやさ	リンパ腫の種類
低悪性	年単位でゆっくり進行	マルトリリンパ腫など
中悪性	月単位で進行	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫など
高悪性	週単位で進行	甲状腺原発悪性リンパ腫では稀

2) 病気の広がり診断する！「病期診断」

治療方針を決める際には病気がどのくらい進行しているか(病期)も考慮して決定します。次コーナーの「検査のお話」で詳しく説明します。

5. 治療

悪性リンパ腫という病名からとても悪い病気という印象をお持ちになるかもしれませんが、悪性腫瘍の中では、比較的抗がん剤や放射線療法が効きやすいとされ、よい治療成績が得られています。リンパ腫と診断されたあとも心配し過ぎること無く適切な治療をうけていただくことが大切です。当院で行っている治療を簡単にご紹介します。

1) 「低悪性度」のマルトリリンパ腫の場合

放射線治療を行います。甲状腺と周辺のリンパ節の領域に放射線を当てていきます。放射線量は1日2グレイ、1週間に5日(10グレイ)のペースで4週間かけておおよそ40グレイです。治療の半ばには喉の痛みなどで食事がとりにくい時期もありますが、通院での治療が可能です。

2) 「中悪性度」のびまん性大細胞型B細胞性リンパ腫の場合

いわゆる抗がん剤による化学療法と放射線療法を組み合わせで行います。悪性リンパ腫では複数の抗がん剤とステロイド薬を組み合わせた方法が一般的です。薬剤の頭文字をとってR-CHOP療法(アール - チョップ療法)と呼ばれます。「R」はリツキシマブという薬剤で非常に効果が高く、治療効果を著しく改善したといわれています。当院の治療成績は米国甲状腺学会の機関誌に掲載され(Thyroid24:994-999,2014) 甲状腺のリンパ腫における有効性が明らかにされています。3週間を1コースとし、3回施行後(つまり9週間経過後)、上記の放射線療法(4週間)を行います。治療後に、吐き気・便秘・白血球低下・しびれなどを生じることがありますが、薬剤で対処が可能です。治療後2週間位すると脱毛がみられますが、治療終了後には必ず生えてきます。

伊藤病院 内科 渡邊奈津子

甲状腺の悪性リンパ腫が疑われた場合どんな検査を行うのでしょうか？

1. 病気の種類を決定するための検査：病理診断

エコー検査や細胞診といった初期の検査でリンパ腫が疑われれば、腫れている甲状腺の組織を顕微鏡で詳細に調べ、病気の種類・悪性を決定します。これがもっとも大切な検査です。十分な量の組織を用いて、きちんと調べることがポイントですので、約1週間の入院の上、診断のために甲状腺組織を採取する手術を行うことを基本としています(生検手術や試験切除術と呼ばれます)。この結果がそろそろまでに通常2週間ほどかかります。

2. 病気の拡がりを調べる検査：病期診断

リンパ腫が拡がる可能性のあるリンパ節をはじめとするリンパ組織は全身にある為、全身を詳しく調べます。甲状腺のリンパ腫では甲状腺のみ(I期)か、上半身のリンパ節にとどまること(II期)がほとんどで、限局期と呼ばれます。一方、病気が下半身のリンパ節(III期)やその他さまざまな部位に及び場合(IV期)を、進行期と呼び、甲状腺のリンパ腫では稀です。進行期の場合、全身のリンパ腫をしっかり治療するため血液内科の先生へ治療を依頼しています。

1) 画像検査

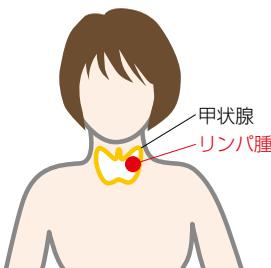
- ① **CT検査**：全身のCT検査を行います。造影剤を併用することで、よりリンパ節の病変がわかりやすくなります。ご高齢の方や腎臓の機能が低下している方は、造影剤の負担が大きいため注意して行います。
- ② **シンチグラフィ**：悪性腫瘍に集積しやすい放射性物質の性質を利用してリンパ腫の拡がりを確認します。ガリウムシンチグラフィや、FDG-PET検査を行います。

2) 骨髄検査

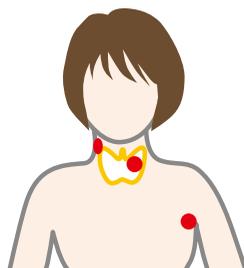
悪性リンパ腫の細胞が骨髄に及んでいるかを調べる検査です。骨髄は骨の中心部分にある血液を産生する場所です。安全に検査を行うため、腸骨という骨盤の大きい骨の部分で検査します。

【病期の決定】病気の拡がりは大きく4段階(病期分類)に分けられます。**I 期**

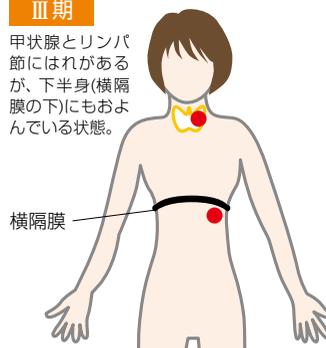
甲状腺だけにリンパ腫のかたまりが限られている状態。

**II 期**

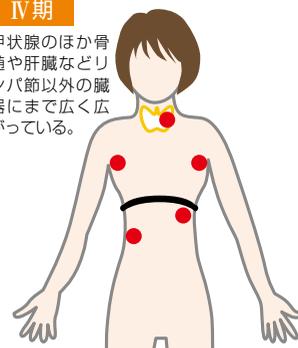
甲状腺とリンパ節にはれがあるが、上半身(横隔膜の上)に限られている状態。

**III 期**

甲状腺とリンパ節にはれがあるが、下半身(横隔膜の下)にもおよんでいる状態。

**IV 期**

甲状腺のほか骨髄や肝臓などリンパ節以外の臓器にまで広く広がっている。



相武台病院 院長 伊藤病院 非常勤医師 中川正行

カゼは、ウイルスの感染に因って起きる鼻・咽喉頭の上気道の炎症です。花粉症は、花粉のアレルギー反応で鼻炎、結膜炎等を生じます。原因は違いますが、共にくしゃみ、鼻水といった鼻炎症状があります。その為によく混同されます。

一般的にカゼは、鼻の後方から咽にかけての乾燥感、むずむず感で始まり次にくしゃみ、鼻水、全身倦怠感、発熱を認めます。鼻水は、最初は水のようにサラサラとした水様性で、3日程で膿のような粘り気のある粘液膿液性となります。1～2週間で治ります。

花粉症は、鼻の痒み、発作的なくしゃみが頻発し、多量の水様性鼻汁、鼻閉を生じ又目の痒みもよく認められます。全身倦怠感、発熱はなく、原因となる花粉のシーズンが終わるまで持続します。

春のスギ花粉症は良く知られていますが、花粉症そのものは、季節毎の花粉尘があり、ほぼ1年中あります。又スギ花粉も年により10月から観測されています。

花粉症の方が、ある特定の食物を食べると、口腔アレルギーを来たす事があり注意が必要です。多くは摂取後15分以内に、唇、口腔、咽喉頭にヒリヒリ感、疼痛、腫れ等を生じ、暫くして自然に治りますが、時には喉頭浮腫、呼吸困難、更にごく稀にショックに至る事があります。

口腔アレルギーを来すものとして現在知られているのは、シラカンバにナッツ類、リンゴ、モモ等。イネ科にトマト、スイカ、メロン等。ブタクサにメロン、バナナ、スイカ等。ヨモギにセロリ、ニンジン。以上の様な取り合わせがあります。

特にバラ科の果物、新鮮野菜に多く、メロン、スイカ、キウイは種々の花粉症に高頻度に見られます。

今年の秋からスギ花粉症の舌下免疫療法が始まります。スギ花粉エキスを舌の下に滴下し、アレルギー症状を治療する方法です。処方できる医療機関は限られますので、事前に医療機関をお調べになってから受診してください。

大須診療所は10周年を迎えました

大須診療所 院長 椿秀三千

大須診療所は、平成16年6月に名古屋市中区大須に開設し、早いもので今年6月に10周年を迎えました。

開設当初のビルの診療所は、職員5名でのスタートでした。それとともに、電子カルテや優先予約制などを導入し、患者様の利便性を考慮して平成21年から迅速検査を開始しました。

そして、平成23年7月には、CT・アイソトープ検査・治療設備を導入した診療所が完成しました。新診療所は、パセドウ病のアイソトープ治療や甲状腺分化癌術後のアブレーション治療を可能とし、診療機能を大きく向上させました。

現在では他施設の先生方からご紹介いただいた方を含め、年間2万2千名の患者様にご来院いただいております。

「甲状腺疾患の専門診療を東海地区の方々へご提供したい」という開設当初からの変わらない想いを大切にし、今後もより質の高い医療サービスをご提供できるよう職員一同努力してまいり所存でございます。

これからもどうぞよろしくお願ひ申し上げます。



連携施設の先生方をお招きして10周年を祝いました

大須診療所はピンクリボンフェスタに協賛しています

大須診療所 事務長 高田博史

ピンクリボンは「乳がんが悲しむ人を一人でも減らしたい」との想いから1980年代にアメリカで発祥されました。日本でも2000年ごろから盛んになり、2003年からはピンクリボンフェスティバルもスタートし、乳がんへの関心を高め、早期の検診受診を伝えるために展開されています。

名古屋では、Voice42号でご紹介しましたココカラウィメンズクリニックの伊藤加奈子先生が名古屋ピンクリボンフェスタの実行委員長を務められています。大須診療所も3年前から協賛し、乳がんとともに女性に多い甲状腺疾患についての啓蒙活動に力を注いでいます。今年5月10・11日に開催された「名古屋ピンクリボンフェスタ at 栄ミナミ音楽祭」では、甲状腺検診の大切さを知っていただくため、会場で松坂屋マスコットのさくらパンダも応援に駆けつけ、チラシを配布いたしました。

伊藤病院1Fに当診療所への直通電話を設置しております。ご質問などございましたら、お気軽にお電話ください。

大須診療所

住所：愛知県名古屋市中区大須4-14-59

電話：052-252-7305 FAX：052-252-7308 HP：http://osu-shinryoujyo.jp/

やましたクリニックのご紹介

第5回

このコーナーでは、当院の診療連携施設であるやましたクリニックの情報をご紹介してまいります。

医療法人福甲会 やました(甲状腺・副甲状腺)クリニック 理事長・院長 山下弘幸

やましたクリニックの山下です。

ビタミンDは骨カルシウム代謝に重要な働きがあることは知られていますが、その他にも免疫系、心血管系、皮膚、神経筋肉系や癌の発生(抑制作用)に関しても影響があることがわかってきています。今回はビタミンDと甲状腺疾患(特に骨カルシウム代謝)とのかわりについて述べさせていただきます。

ビタミンDは日光(紫外線)を浴びることにより皮膚で生成され、また食事としても摂取されます。しかし、紫外線の皮膚への悪影響(主として美容の問題であるが、皮膚がんや白内障の発症にも関与)もあり、日光を避けるようになってきました。食事に関しては、ビタミンDを多く含有する魚やキノコ類の摂取が少なくなっています。

これらのことを考えると、現代人(特に女性)はビタミンD不足に陥りやすいことがわかります。ビタミンD不足が生じると摂取したカルシウムの吸収が悪くなり、副甲状腺ホルモン(骨からカルシウムを溶出します)が高くなり、骨密度を低下させることとなります。

以前、パセドウ病患者さんについて血中のビタミンD濃度、副甲状腺ホルモンや骨密度を調査しました。想定したとおり、ビタミンD不足とそれに伴う副甲状腺機能亢進や骨密度低下を認めました。とくに若い女性では顕著でした。女性の骨密度は成人までに最高になり、閉経後よりしだいに減少していきます。骨密度が成人の70%未満になると骨粗鬆症と診断され、それは骨折の重要なリスク因子となります。骨密度はビタミンDだけでなく運動や体重にも影響されます。最近は過度なダイエットをする女性がふえてきていますので、それも骨密度低下の一因となり、将来的には骨粗鬆症に伴う骨折が増えるかと予想されます。

この話は紙面の関係で次回に続きますが、まずはビタミンD摂取(食事でののが理想的ですが、サプリメントでも結構)と



日常の運動に心がけ、無理にダイエットしないようにしてください。

医療法人 福甲会

やました(甲状腺・副甲状腺)クリニック

〒812-0034 福岡市博多区下呉服町1-8

http://www.kojosen.com/index.html

TEL：092-281-1300 FAX：092-281-1301

表紙no写真

2020年の東京オリンピックに向け建て替えとなる国立競技場最後のイベント『SAYONARA 国立競技場FINAL “FOR THE FUTURE”』で1964年の東京オリンピック開会式にて、日本中を大きな感動と歓声の声に包んだブルーインパルスが再び国立競技場の上空をフライトしました。

伊藤病院がありますこの表参道も東京オリンピックの時はまさにオリンピックシティとなることが予想されます。東京オリンピックまであと6年。表参道がどのように変わっていくかご来院の際に楽しみにしていただければと思います。(白濱)



編集後記

今回もVoiceを手にとって頂き、ありがとうございます。

早いもので、今年ももう秋ですね。

表参道のケヤキ並木から聞こえていたセミの鳴き声はもう聞こえなくなり、石焼き芋を販売している移動車のアナウンスを聞き始める季節になります。

私は秋といえば『食欲の秋』を思い出します。涼しくなり食への欲求が増し、つい食べ過ぎてしまい、毎年後悔しています。皆様も色々な形で秋を感じて思いっきり堪能してください。

これから寒くなっていきますが、どうぞお大事になさってください。(川浪)

甲状腺疾患書籍のご案内

★いずれの書籍も伊藤病院1F売店で販売しております。ぜひ、ご活用ください。



新刊

患者のための最新医学
バセドウ病・橋本病・
その他の甲状腺の病気

監修：伊藤公一
定価：1,300円(税込)
発行：高橋書店



「よくわかる
甲状腺の病気」

著者：伊藤公一
定価：1,400円(税込)
発行：主婦と生活社



「甲状腺の病気」

速やかな回復のための最新知識
監修：伊藤公一
定価：1,400円(税込)
発行：法研



「甲状腺の
病気の治し方」

監修：伊藤公一
定価：1,300円(税込)
発行：講談社



「甲状腺の病気の最新治療
バセドウ病・橋本病・
甲状腺腫瘍ほか」

監修：伊藤公一
定価：1,510円(税込)
発行：主婦の友社



「図解 甲状腺の病気が
よくわかる
最新治療と正しい知識」

監修：伊藤公一・高見博
定価：1,510円(税込)
発行：日東書院

発行 2014年9月1日発行 第47号 伊藤病院広報誌委員会

ITO
HOSPITAL
伊藤病院

〒150-8308 東京都渋谷区神宮前4-3-6

TEL : 03-3402-7411

FAX : 03-3402-7415

URL : <http://ito-hospital.jp>